

勉強中に聴く音楽の歌詞の言語の違いが作業効率に与える影響

音楽班: 澁谷美菜、鈴木悠太

要約

本研究は、勉強中に聴く歌詞の言語の違いが作業効率に与える影響を調査することが目的である。高校生31名に日本語、英語、韓国語の三種類の言語の歌詞の曲を聴きながら計算課題と記憶課題を課せる実験をした。この実験から計算課題、記憶課題ともに韓国語の歌詞の曲が、日本語や英語の歌詞の曲に比べ点数が高くなった被験者が多かった。普段聞き慣れない言語の歌詞の曲が、頭へ残ることが少なく、テスト問題の解答、記憶する際の邪魔にならないのではないかと考えた。今後は、実験を行う際の環境、音源などを細かく設定して追実験を行えば、より精密な実験結果が得られるはずだ。

1. はじめに

私たちは、普段音楽を聞きながら勉強することが多いが、それでは集中力が削がれてしまうのではないかと考えた。歌詞が含まれる曲は作業効率が落ちるとする先行研究より、その歌詞の言語が違えば作業効率が変わるのかを調べ、学習と音楽の関係性を研究する。

2. 研究手法

本研究では、高津高校の生徒31名に、日本語、英語、韓国語の曲の三種類の曲(被験者が聞いたことがない曲)をイヤホンで聞きながら、2桁×2桁の計算のテスト(以下、計算課題とする)と、上記の音楽を聞きながら、750文字程度の文章を記憶し、その後、音楽は聞かず、また制限時間を設けずにその文章に関する問いを10問(以下、記憶課題とする)を実施し、このテストの正答率、解答率を調査する。

3. 結果

実験を行った結果、計算課題、記憶課題ともに、韓国語の歌詞の曲が、日本語や英語の歌詞の曲に比べ点数が高くなった被験者が多かった。計算課題は、被験者全体の問題の解答率と正答率に大きな差はなく、ほとんどの被験者が解答した問題は正答していたということになる。また、記憶課題では、問題の解答率は全体で90%以上であったが、被験者各々の正答数には大きな差が見られた。

4. 考察

韓国語の歌詞の曲が1番点数が高くなった原因は、聞き慣れない言語のため歌詞が頭に残ることが少なく、日本語や英語の歌詞の曲を聞いたときより、テスト問題の解答、記憶する際の邪魔にならないのではないかと考えた。また、計算課題は2桁×2桁の計算という比較的簡単なテスト問題だったため、解答率と正答率に大きな差がなかったと考えられる。また、記憶課題では、やや難易度が高く、被験者各々のテスト結果において、記憶力などの能力の個人差も影響したと考えられる。

5. 結論

今回の実験に使った曲を選ぶ際に、曲のジャンルを揃えて選曲したが、歌詞の量やテンポ、リズム、音楽の音量や再生環境などを考慮しきれていなかった。今後の展望としては、実験を行う際の環境、音源などを細かく設定して追実験を行えば、より精密な実験結果が得られるはずだ。

6. 参考文献ならびに参考Webページ

- ・音楽に含まれる言語情報が文章課題の遂行に及ぼす影響に関する研究 本多 薫
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jergo/46sp/0/46sp_0_376/_pdf/-char/ja
- ・日本語の歌詞の曲
計算課題...アイムアイ/ This is LAST 記憶課題...Weekend Magic / BIGMAMA
- ・英語の歌詞の曲

計算課題...Believe It / Mercy Mecedes 記憶課題...Put Your Money On Me / The Struts
•韓国語の歌詞の曲
計算課題...Boom Boom Boom / 2PM 記憶課題...ISLAND / TRCNG